

第60回全日本総合ハンドボール選手権大会  
 <戦評記入用紙>

\*会場 いしかわ総合スポーツセンター Aコート・Bコート

\*スコアー

トヨタ車体	41	20	—	12	31 豊田合成
		21	—	19	
		—	—	—	
		—	—	—	
		—	—	—	

\*見出し

トヨタ車体の強力バックプレイヤー陣が合成ディフェンスを粉砕

門山、高智という全日本のバックプレイヤーを擁するトヨタ車体に対し、豊田合成は身上のスピードで勝負を挑む。試合の主導権を最初に握ったのはトヨタ車体。鶴谷のサイドシュートで先制した後は、高智や門山のロングなどで開始7分で9対4と5点のリードを奪う。このままワンサイドゲームになるかと思われたが、ここから豊田合成が奮起。トヨタ車体が門山と高智を休ませている間に、島中のロングや楯谷の速攻などで21分過ぎには3点差に迫る。ここで車体は門山、高智をコートに復帰させるとともに、1-5ディフェンスに変え合成のロングを封じにかかる。そして門山、高智のロングなどで再スパート。8点差で前半を終了した。

後半にはいるとトヨタ車体が引き難しにかかる。崎前のサイドや門山のロング、カットインで得点を重ねるが、豊田合成もあきらめない。島中や渡久山のトリッキーなブラインドシュートを軸に攻めるも、前半のリードを保ち、トヨタ車体が10点差で勝利した。